



5・6年社会科見学で長崎市へ

11月27日(金)に5・6年生は、社会科見学で長崎市へ出かけました。穏やかな陽気となり、日程通り見学地を回ることができました。

今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、貸切バスを利用して各見学地を回りました。

最初の見学地「山王神社」を尋ね、一本柱鳥居や、被爆しながらも豊かな緑を取り戻したクスノキを見学し、被害の大きさを実感すると共にたくましい生命力を感じました。

その後、次の見学地「平和公園」、「原爆資料館」へ向かいました。

「原爆資料館」では、折れ曲がった工場の鉄骨、被爆資料等の展示物や記録映像を通して、原爆の悲惨さや平和の大切さを改めて実感することができました。

昼食後、最後の見学地「出島和蘭商館跡」へ向かいました。そこで今回、GoToトラベルキャンペーンでクーポンを発行していただきました。子どもたちは、クーポンを片手に、出島のレトロな雰囲気と江戸時代特有の街並みを感じながら、各施設を見学して回りました。でも一番長く居たのはやはり、お土産店みでした。

どの見学地でも、子どもたちは熱心にメモを取りながら見学し、マナーを守って行動することができました。これまでの学校での学習を深めたり、今後の学習に生かしたりできる有意義な社会科見学となりました。



【山王神社（一本柱鳥居・クスノキ）】



【平和公園】



【爆心地公園】



【原爆資料館】



【出島和蘭商館跡】



○人権集会を開きました

12月4日から10日までが人権週間ということで、7日(月)に「人権集会」を開きました。今年も各委員会で役割を分担し、企画・当日の進行、全校遊び、詩の朗読に取り組みました。各委員会とも取組の成果をしっかりと発揮することができました。その後、「誓いの言葉」を学年ごとに一人ずつ発表していきました。「人に優しくします」、「ていねいな(温かい)言葉を使います」、「笑顔で明るく元気に過ごします」など、『優しさ、言葉遣い、笑顔、元気』などがキーワードになる誓いの言葉が多く見られました。最後に私が、相田みつをさんの詩(トマトとメロン)の一部を紹介して終わりました。

この人権週間の取組については、児童会でも児童総会を開いて決定した内容もありました。お互いのいいところをむける「いいところカード」や、友達との交流の機会を創る「校内年賀状」、温かい思いやりを届ける「募金活動」の取組です。

募金活動を行うに当たって、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。



百そと生いメ精ト	
点れマきのローマ	
満そとてちん杯ト	
点れもいいは生は	
生ににめるっメきト	ト
生きて 自口だば口てマ	マ
分んけいんいと	ト
のも にのるの	ト
い いたいのけの	メ
んだちのちち	ロ
よ を を	ン



【誓いの言葉】